

第2回 関東少年少女空手道選手権大会実施要項

全日本空手道連盟 関東地区協議会

- 1 大会名 第2回 関東少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 全日本空手道連盟 関東地区協議会
- 3 主管 山梨県空手道連盟
- 4 後援 公益財団法人 全日本空手道連盟 公益財団法人 山梨県体育協会 (各予定)
- 5 場所 山梨県小瀬スポーツ公園内武道館
住所：〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町840
電話番号：055-243-3115
- 6 日時 平成25年 6月30日(日)

| 6月30日(日) | |
|----------|------|
| 8:00 | 開場 |
| 8:15 | 審判会議 |
| 8:40 | 監督会議 |
| 9:00 | 開会式 |
| 9:30 | 競技開始 |
| 17:00 | 競技終了 |
| 17:10 | 表彰式 |
| 18:00 | 解散 |

- 7 種目 小学生1～6年生の男子・女子の形及び組手競技個人戦
- 8 参加人員 学年別・男女別それぞれ3名を各都県代表選手とする。但し開催都県はそれぞれ5名を各都県代表選手とすることができる。監督・コーチを含め、次表のとりの参加数内訳とする。
なお、同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。

| 種目 | 組手競技 | | | | 形競技 | | | |
|-------|----------------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------|----------------|---------------------|----------------|
| 選 手 | 男子 | 1年 ～ 6年 | 各3名 (開催都県 5名) | 計18名 (計30名) | 男子 | 1年 ～ 6年 | 各3名 (開催都県 5名) | 計18名 (計30名) |
| | | 女子 | 1年 ～ 6年 | 各3名 (開催都県 5名) | | 計18名 (計30名) | 女子 | 1年 ～ 6年 |
| | 組手 計36名 (計60名) | | | | 形 計36名 (計60名) | | | |
| | 選手(男・女)計 72名 (計120名) | | | | | | | |
| 監 督 | 1名 | | | | | | | |
| コ ー チ | 4名 | | | | | | | |
| 総人員 | 77名 (125名) | | | | | | | |

9 競技規定

- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟<空手競技規定(平成24年6月17日改訂)>により行う。
- (2) 形競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦は1名ずつで各コートにて学年別男女別順に競技する。3位決定戦は行わない。
 - (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
 - (ウ) ベスト16以下は、ゲキサイ第1、第2、平安、又はピンアン初段~5段の中から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
 - (エ) ベスト8以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
- (3) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別順に競技する。
 - (ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - (エ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点の場合は、判定により勝敗を決する。
- (4) 安全具
 - (ア) 組手全種目に拳サポーター(全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)、全空連検定メンホー及びボディプロテクターを着装すること。なお、安全具は選手各自において用意すること。
 - (イ) 小学3~6年生男子組手出場選手は、必ずファールカップを着装すること。ただし、1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。
 - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること。
 - (エ) インステップガード及びシンガードを全学年で着装する。
- (5) 服装
 - (ア) 監督・コーチは白の空手衣を着用すること。
監督用IDカードは、大会当日の監督会議にて配付する。
 - (イ) 監督・選手は競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に都県名を入れること。(4ページ参照)
 - (ウ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。
 - (エ) 青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し、着用すること。主催者では用意しない。

10 表彰

- (1) 賞状の授与
男女別に総合得点の最上位の都県に対し、賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。
 - (ア) 各種目の入賞者に次の得点を付与する。
1位 8点、2位 7点、3位 5点(2名) 5位 2.5点(4名)
 - (イ) 総合得点が同点の場合は優勝者数の多い都県に授与する。
 - (ウ) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。
- (2) 組手・形ベスト8以上の選手を次のとおり表彰する。
優勝1名 準優勝1名 第3位2名 第5位4名
なお、対象となる選手は、必ず表彰式に参加すること。

- 11 審判員 大会審判団は、(公財)全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。
 (1) 各都県が推薦した公認地区組手審判員以上(8名以上)を大会審判員に委嘱する。
 (2) 上記にかかわらず、大会審判員に不足が生じた場合は、開催都県から委嘱する。
- 12 安全対策 (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
 (2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。
 (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
 (4) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。
- 13 出場資格 (1) 出場選手、監督及びコーチは、(公財)全日本空手道連盟会員であること。
 (2) 出場選手は、各都県連盟が選出した代表選手であること。
 (3) 監督及びコーチは、(公財)日本体育協会公認空手道指導員以上または地区審判員以上の資格を有する者であること。
- 14 出場申込 (1) 1名1種目とする。
 (2) 選手出場費として1人1,500円を納めること。
 (3) 別途定める出場申込書を提出すること(原則として、選手名簿等は、エクセルファイルで作成したデータも併せてメール等で提出すること)。
 (4) 申込書の送付、問合せ先及び出場費送金先(口座)は次のとおり

〔申込書送付先〕

〒406-0842 山梨県笛吹市境川町石橋 846
 山梨県空手道連盟 大会部会副部長 飯野 秀一
 055-266-7030 携帯 090-1113-2517

〔エクセルファイルデータ メール送付先〕

iino-insatsu@opal.plala.or.jp

〔問合せ先〕

山梨県空手道連盟 大会部会長 太田 学
 0556-36-0055 携帯 090-7419-7127

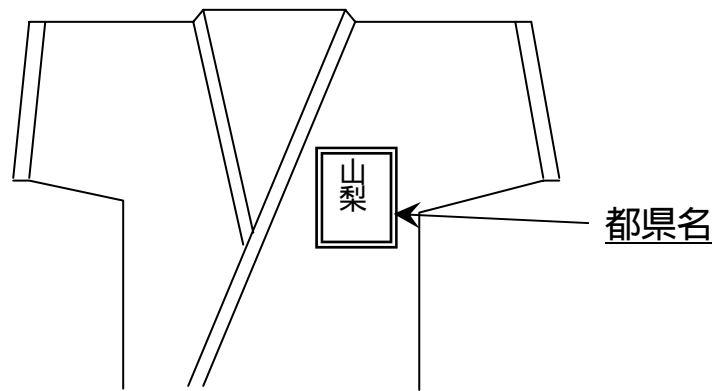
〔出場費送金先(振込口座)〕

| | |
|------|--------------------|
| 銀行名 | 山梨中央銀行 |
| 支店名 | 昭和支店 |
| 口座番号 | 普通 309026 |
| 口座名義 | 山梨県空手道連盟 事務局長 細田和哉 |

出場費は必ず都県連盟から一括して振り込むこと。

- 15 申込期限 平成25年5月24日(金)(期限厳守)
- 16 協賛金 各都県ともプログラム広告費として、50,000円を協賛金とする。
- 17 宿泊等 (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
- 18 その他 (1) ゼッケンは開催都県で作成し、6月中ごろまでに各都県連盟あて送付するので、各連盟において査収の上、出場選手に配布すること。その際、ゼッケンが到着されていないと参加できないことを告知し、しっかり縫い付けるよう指導すること。
 (2) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない(監督・コーチの変更も不可)。
 (3) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。

ゼッケン・胸マークについての注意事項



- 1 ゼッケンはしっかり縫い付けてください。
- 2 会場が混雑しますが観客席に網を張ったり、荷物等を置いたりして占拠しないで下さい。
- 3 胸マークは縦 15cm × 横 10cmの大きさにしてください。

以上、厳守くださいますようお願い申し上げます。